

大河原町まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像

地方版総合戦略(2015~2019年度の5か年)

地方人口ビジョン

中長期展望(2060年までを基本)

I. 人口の現状分析

○人口動向や将来人口推計の分析

- ・区画整理や商業開発が進み転入や新築も多く人口は伸びてきた
- ・近年は開発も少なく人口減少傾向だったが、東日本大震災の影響で転入が増え2014年に人口がピークとなる

2060年人口推計

- ・総人口が2015年から6,000人減少し、17,768人となる
- ・年少人口46%減、生産年齢人口38%減
- ・高齢人口は17%増加、2050年まで増え続ける

II. 人口の将来展望

○目指すべき将来の方向性や施策の方向

- ◆各施策により2060年に2万人の人口を確保
- ◆国民希望出生率1.80の実現

◎仕事があり、働きやすい環境の実現

◎移住・定住が進む環境の実現

◎結婚・出産・子育ての希望がかなう環境の実現

◎全町民の健康寿命が延伸する環境の実現

◎高齢者を地域で支える仕組みの構築

基本目標※1と基本的方向※2
 ※1実現すべき成果(アウトカム)に係る数値目標を設定(定性目標の場合客観的な指標を設定)
 ※2目標達成のために講ずべき施策の方向を記載

しごとをつくり、安心して働けるようにする
 ・雇用を増やす、就業環境を改善する

- ◆企業誘致により町内雇用30人以上の実現。
- ◆短時間勤務社員制度の活用者5人。

新しいひとの流れをつくる
 ・大河原町への来訪者、定住者を呼び込む

- ◆移住施策により空き家に転入5件。
- ◆観光施策により年3,000人来訪者増加。

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 ・結婚～子どもを産み育てやすい環境を整備する

- ◆合計特殊出生率を1.61に上昇(2012年1.43)。
- ◆子育て支援・保育サービスの充実の満足度が上昇。

時代に合った(人口構成の変化等に合わせた)地域をつくり、安心な暮らしを守る
 ・増加する高齢者の健康寿命が延伸する暮らしやすい環境と、持続可能な地域社会に向けた環境の整備を図る

- ◆健康であることが幸せにつながる意識を強め健康増進に心がける人が増える。
- ◆在宅で暮らし続けるための健康の保持、地域で支援する意識を強め長寿を目指す。

地域と地域を連携する
 ・広域連携により施策形成を図る

- ◆各市町と合同で取り組み、効果的に成果が得られる体制づくりを進める。

主な重要業績評価指標(KPI)

企業誘致による参入企業2社

農産物産地化・加工の交付金活用団体等3団体

ワークライフバランス等啓発・企業訪問10社

空き家バンクの整備・移住サイトの開設

新名物を通年観光の目玉とする(1件)

観光ボランティア養成30人、情報発信し隊認定10人

県内婚姻率1位の維持を支援

住民満足度調査の質問項目「子育て支援の充実」の満足度5点中3.8点に向上(2013年度3.3点)

保育所、幼稚園などのサービスと施設の管理運営など保護者アンケートを実施。事業実施後満足度5点中4.0点以上

保育待機児童数0人(2015年保育待機児童数17人)

住民満足度調査の質問項目「保育サービスの充実」5点満点中3.8点(2013年度3.3点)

「歩きたくなるまち」健康管理システム登録者1,000人

筋力・運動教室等への参加者500人増

介護予防サポーター5年で100人・認知症サポーター13%増

長寿見守り隊4社から8社に増

H27年度住民満足度調査「空家対策」の満足度から0.5ポイントアップ

広域連携移住・定住情報サイト閲覧件数年1,000件

広域的な婚活イベント年間定期開催2回実施

近隣市町とウォーキングコース設定し健康増進を拡大

取り組み内容

①企業誘致に係るセールス活動の強化 ②「雇用促進奨励金制度」のPR
 ③空き家等を活用する企業への支援を検討 ④新規就農希望者を呼び込み遊休地とのマッチング促進 ⑤新たな特産物づくりと6次産業化を支援
 ⑥新たな起業、第二創業に対し、雇用創出の支援制度を整備
 ⑦ワークライフバランスの趣旨普及、活用啓発の強化 ⑧ワークシェアリングなどライフスタイルに応じた働き方の啓発

①空き家バンク整備活用 ②国の移住ナビとの連携強化
 ③移住者の空き家リフォーム支援 ④通年観光に向けた観光振興の研究と地場産品等のブランド化 ⑤「まちの宝探し」による観光資源の発掘
 ⑥観光ボランティアを養成し、来訪者へのおもてなしを強化
 ⑦町民協働「情報発信し隊」の公的認定による情報発信の推進

①町全体での結婚プロジェクトの推進 ②小中学校時に結婚・出産・子育てなど学習機会の提供 ③子育て期短時間勤務制度などワークライフバランス・ワークシェアリングの啓発 ④妊婦のサポート体制の強化 ⑤産後ヘルパー支援事業の導入
 ⑥第3子以降出生世帯への出生祝い金贈呈 ⑦子ども医療費の18歳まで無料化拡大、所得制限撤廃 ⑧公共施設の土日開放による親子の交流の場を整備
 ⑨三世同居用住宅の新築・増築等助成制度の整備(在宅保育支援) ⑩子育て施設への備品等の充実を促進 ⑪民間活力による多様な保育サービスの提供
 ⑫ファミリーサポートセンターの設置検討 ⑬「放課後子ども総合プラン(放課後児童クラブ・放課後子ども教室)」の推進

①「健幸」な暮らし方をまちづくり化し普及啓発 ②健康増進「歩きたくなるまち」創造を推進 ③健康高齢への強化施策(筋力アップ・運動教室等)の推進 ④高齢者に対する運動、生きがい活動の場を設け、元気高齢者の増加を促進 ⑤中高年の健康分析の情報発信による健康増進啓発 ⑥地域包括ケアシステムの整備準備
 ⑦介護予防サポーター・認知症サポーターの地域支援者の拡大 ⑧介護予防意識の啓発強化 ⑨地域見守りネットワーク協定の拡大 ⑩介護家族慰労に対する表彰等の検討 ⑪ショートステイ整備支援による在宅介護の強化 ⑫三世同居用住宅の新築・増築等助成制度の整備(在宅高齢者支援) ⑬「大河原大学」開校準備・研究 ⑭⑮空家実態調査による実態把握、特定空家対策の制度化 ⑯⑰町内各所に防犯カメラ設置の検討

①広域的な企業誘致活動の組織検討 ②ワークライフバランスの広域的な共同啓発の検討 ③広域連携による移住・定住情報サイトの設置 ④広域的組織「婚活プロジェクト」の設置検討 ⑤蔵王ブランド開発に向けた広域観光物産振興の共同化の検討 ⑥周辺市町と共同でウォーキングコースの設定
 ⑦環境政策を進める広域的組織の整備の検討